

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--|
| 事業名 | 八方尾根植生回復及び高山植物保護事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 八方尾根自然環境保全協議会 長野県北安曇郡白馬村北城 5732-2 TEL0261-72-2477 |
| 事業区分 | (5) 環境保全及び景観形成事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 1,538,566 円 (うち支援金 : 1,153,000 円) |

事業内容

八方尾根第2ケルン下方の裸地化した箇所 300 m²に、高熱処理したグリーンフォーマットの端と端を重ね、隙間のないよう敷き詰め、グリーンパトロールの採取した高山植物の種子を播種した。

ネイチャーラベル設置作業は、山の日制定に伴うキャンペーン企画として、一般参加者を公募し行い、県保全研究所植生担当者より八方尾根の特性について講話の自然観察会時に、ネイチャーラベル 30 枚を設置した。



【植生作業】

【目標・ねらい】

- ①八方尾根の植生回復
- ②地元住民による継続的保護保全
- ③自然の偉大さ大切さを継承する
- ④

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①自然研究路より第2ケルンを望む、広範囲の裸地化した箇所 (300 m²) の保護が図られた。
- ②各団体よりボランティアとして、約 60 名が八方尾根の自然の保護保全に参加し、それぞれが熱心に作業に汗する姿に、今後も継続的に引き継がれて行くことを感じた。
- ③八方尾根の特性を活かし、高山植物が多く自生する中、植物の名や特徴を記しているネイチャーラベルの設置は、登山者に好評を得ている。

※自己評価 【 A 】

【理由】

ネイチャーラベル 30 枚は、より特徴を重視し、写真も大きく解り易い物が出来た。植生作業は、大勢のボランティアが参加し保全に務めた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年、植生回復作業を行った第2ケルン下方の南斜面は、八方尾根自然研究路より第2ケルンを望める場所が、広範囲に亘り裸地化しており景観上、植生回復作業は今後も継続的に行う場所である。また、台風18号の影響により、45メートルの強風で以前作業をした所の植生マットが剥がれた部分が数か所確認され、補修が必要になる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある